

年金者組合やぐら

2017年8月15日
第246号
発行 行
年金者組合目黒支部
(目黒区労連内)
〒153-0065
目黒区中町2-30-10
Tel/Fax 3792-0175
<http://www.nenkisyu-meguro.org>



【イメージ】

終戦を記念して

学童疎開 男性 86歳

この時代に生きてきた少年は、この道しかない信じ神々しい学生生活を過ごした。昭和十六年大東亜戦争から二年四か月が経っていた。

72年目の終戦記念日を迎えます。しかし今の日本の政治は、「不戦」を誓った憲法を踏みにして極めて危険な方向に進もうとしています。私たち高齢者は、戦争を直接体験した世代として平和をめざして奮闘してきました。

今回は、改めて不戦の思いを込めて、戦争体験を語っていただきました。

「国策疎開」

疎開というと学童疎開を思い出す。昭和十八年、国民学校高学年(四・五・六年)の児童を対象に、親元から強制的にへき地の寺などに転校させられ勉強した。神童を守るという意味があつたのだろう。

「食料疎開」

面白半分。また、水洗トイレがあつたことに驚かされた。

「建物疎開」

昭和十九年土曜日の午後、鳶職の兄ちゃんがおじさんに混じって、建物を強制的に壊した。中学生の少年たちは、屋根にロープをひっかけ綱引きまがいに倒した。戦争が激しくなり空襲による延焼をまぬがれるためだ。赤坂界隈は花街があり、少年たちは

昭和十六年生まれの当時の少年記録

昭和十五年……紀元二六〇〇年記念祭事のため、花電車を見に行った。(当時、オリンピックが中止になり、中目黒まで市電が来ていた)

昭和一六年二月八日……大東亜戦争勃発 ヤッター！
(国民学校四年生は信じていた)

昭和一七年八月……大本営発表に鼓腹撃壤した。

昭和一八年……「学童疎開」始まる。神童をまもるため
(国民学校高学年)

昭和一九年四月……旧制中学校入学。朝礼時に、軍服姿の尉官が号令台近くに堂々と立つ。

昭和一九年七月……富士山で軍事教練(二泊三日)。

食事がつらく、正座させられ、虫が飛んできても手が出さず。汁物は汚物と同じ入れ物だった。酒で知人に会え嬉しかった。

昭和一九年秋……「建物疎開」(延焼を止めるため)

昭和二〇年三月……東京下町大空襲(改正 駒沢道路で、新聞が読めた)。目黒大空襲(自宅消滅する)

昭和二〇年六月頃……「食料疎開」(食料増産にはげんだ)

待機児童解消と保育の質の確保を

「私の子供も保育園に入れませんか」と区に訴えるお母さん

安倍首相は、保育ニーズが増したことを理由に「待機児童ゼロ、17年度末の目標の3年

人」と前年より30人増で、全国最悪の状況が続いています。保護者と保育関係者の粘り強い運動が世論を動かして、18年4月には718人分の新園が開設されますが、若い世代の転入が多く、区はなお500人分ほどの施設が必要だと述べています。

規制緩和が進められる中、新園は多くの株式会社と補助金の不正受給問題などを起こした社会福祉法人によるものも含まれるなど、保育の質の低下も深刻です。その上、区は財政問題を理由に区立保育園の民営化を積極的に進めています。住民運動によつて築き上げ、「目黒の保育は日本一」と評された私たちの財産である「公立保育園」を守る闘いは、増設とともに

緊急の課題になっています。孫の幸せを何より喜んでおられるおじいちゃん

年金者組合は、若い人や子供たちの要求実現に一緒になつて運動することが高齢者の幸せでもあります。

今回は、保育のことについて共同保育所「コロちゃんの家」の野沢満里子さんにお願いをしました。



支部行事のお知らせ

目黒支部第29回定期大会

日時 2017年9月30日(土)
午後1時30分より
会場 八雲住区センター

第10回誕生会(7・8・9月生まれ)

日時 2017年9月9日(土)
正午より
会場 八雲住区センター
実行委員 飯尾・近藤・品川